

Broaden your horizons ～さあ、視野を広げて!～

日本薬剤師会が実施した新型コロナウイルスの影響度調査で、技術料が18.8%も下がったという速報が出ました。薬局経営も大きく影響が出ています。

そんな中、デジタル薬の承認内定が出ました。2014年の薬事法改正でデジタル薬、つまり「情報技術を導入した医薬品」が医療機器として承認対象となったのです。それ以後、うつ病、糖尿病、発達障害、不眠症などのデジタル薬の開発が活発になりました。そしてついに禁煙治療用アプリが承認内定となりました。行動療法での禁煙治療ノウハウを人工知能(AI)としてアプリに組み込み、臨床試験も実施済みです。

このアプリは、例えば昼食後に「たばこを吸いたくなっていますね?」とユーザーにメッセージを届けてくれます。「吸いたい」と返事すると、「今月いっぱい我慢すれば楽になりますよ」などと励ましてくれます。さらに「どうすれば我慢できるの?」と聞くと、「ガムを噛んでしのぎましょう」などのアドバイスをしてくれます。

外出先では「あの喫茶店の前は通らないでください」と、過去にたばこを吸っていた喫茶店の近くを通ると警告します。時には「部屋の掃除をしましょう」といったユニークなアドバイスもしてくれて、まるでお母さんのようなフォロー具合です。何より、体に何も取り込まないので副作用が起きにくいです。デジタル薬との共存が始まります。

メディセレスクール ファウンダー 児島 恵美子